

平成 20 年 4 月吉日

会 員 各 位

あおもりの川を愛する会
会 長 佐々木 幹夫

平成 20 年度あおもりの川を愛する会総会開催のお知らせ

拝啓 春暖の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より会運営にご協力いただき心から感謝申し上げます。

さて、平成 20 年度の総会を下記のとおり開催する運びとなりました。また、総会の終了後に講演会・懇親会を予定しています。ご多用中とは存じますが、多数ご出席くださるようご案内申し上げます。

敬具

記

日時； 平成 20 年 5 月 17 日（土）13：30～16：30
場所； 「青森県男女共同参画センター」アピオあおもり
（収容可能人員 230 人）
青森市中央 3-17-1 TEL.017-732-1010

スケジュール

総 会 (13：30～14：30)
講 演 会 (15：00～16：30)

< 講演者：独立行政法人水資源機構
理事長 青山俊樹
テーマ：気候変動と水問題

講演者プロフィール

青山 俊樹（あおやま・としき）

京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了。

'69 年、建設省入省。近畿地方建設局姫路工事事務所長、大臣官房技術調査室長、中部地方建設局企画部長、河川局開発課長、東北地方建設局長、河川局長、技監を経て'02 年、国土交通事務次官に就任。'03 年、退官。

なお、準備の都合がございますので 4 月 25 日までに同封のハガキにてご返事をお願い致します。

平成20年度

あおもりの川を愛する会総会
(案)

日時： 平成20年5月17日(土) 13:30～
場所： アピオあもり イベントホール
青森市中央3-17-1 TEL.017-732-1010

平成20年度 あおもりの川を愛する会

- 総会次第 -

第1部 総会 (13:30~14:30)

1. 開 会 13:30~
2. 会長挨拶(佐々木幹夫会長) 13:30~13:35
3. (社)日本河川協会挨拶 (青山俊樹理事) 13:35~13:40
4. 議 事
 - 議案1号 平成19年度事業報告の承認に関する件
 - 議案2号 平成19年度収支決算報告の承認に関する件
 - 議案3号 平成20年度事業計画案の承認に関する件
 - 議案4号 平成20年度収支予算案の承認に関する件
 - 議案5号 会規約一部変更に関する件
5. サークル活動報告
 - ・堤川を愛する会(青森市)
 - ・親しめる川づくりサークル(弘前市)
 - ・ジョイリバーおいらせ(十和田市)
 - ・サークル「母なる川」(五所川原市)
 - ・サークル蔦川(八戸市)
6. 閉 会

第2部 講演会 (15:00~16:30)

第3部 懇親会 (17:00~)

場所：アラスカ会館 <青森市新町1-11-22>

平成 19 年度 事業報告

自 平成 19 年 4 月 1 日
至 平成 20 年 3 月 31 日

1 総 会

会員が集合し、直接意見交換、討論する機会として、年に 1 回実施する。
平成 19 年 5 月 19 日に平成 19 年度総会をアウガ A V 多機能ホールで開催した。
同時に国交省東北地方整備局「坪香 伸局長」お招きし河川文化講演会を開催した。
(245 名)

(参考)

あおもりの川を愛する会 基本方針

1. 柔軟にものを考え、自由に発言できる個人会員が自発的に運営する。
2. 各人が川や水辺に関し興味を感じたことの議論を深め、会報、総会で意見交換を行う。
3. 川の文化の発展に貢献できることを発信する。

2 実施した事業

川の文化の発展に貢献するため、川の自然を見たり聞いたりする活動を実施した。

1) 設立 10 周年記念事業欧州河川探訪会の実施

あおもりの川を愛する会 10 周年の記念事業として、平成 19 年 7 月 1~9 日にベニスで開催された IAHR 国際会議出席の佐々木会長ほか、イタリア(ミラノ・フィレンツェ・ベニス・ローマ)・フランス(パリ)に流れる川を探訪調査した。

2) 野辺地川源流探索

平成 19 年 10 月 5 日源流の探訪会を開催いたしました。三八上北森林管理署のご理解を得て、本川上流の水源かん養保管地に標柱を建立しました。
(15 名)

3) 蔦川の清掃活動

平成 19 年 9 月 1 日に 5 回目の開催 5 年目となる蔦川の清掃活動ですが、今年度は 90 名参加されました。継続しているのでゴミが減っているという意見も多く聞かれました。

4) イワナ人口産卵床づくり

平成 19 年 9 月 1 日にイワナの産卵床づくり(蔦川の支川)の為の材料(砂利等)を蔦川の本流より少し採取致しました。
イワナが産卵する時期(11月上旬頃)前の平成 19 年 10 月 18 日に県水産総合研究センター内水面研究所・奥入瀬川漁業協同組合の協力を得て蔦川支流溪流に一箇所人工産卵床を作りました。その後、11 月 7 日に数名で産卵状況を確認して見ましたが確認が取れませんでした。(産卵床の設置場所、流れが速かったようです)

5) サークル活動

6) 会報の発行

平成 19 年度 第 12 号「わの川だより」を 3 月 31 日に発行した。

7) 情報の発信

インターネットホームページの内容向上、E-Mail の交換により、会員同士の情報交換、一般の方々への情報発信を行い、川の文化の発展に寄与していく。

(アドレス : <http://www.civil.hi-tech.ac.jp/~msasaki/wanokawa/>)

平成 20 年度事業計画（案）

自 平成 20 年 4 月 1 日

至 平成 21 年 3 月 31 日

1 基本的活動方向

1. 柔軟にものを考え、自由に発言できる個人会員が自発的に運営する。
2. 各人が川や水辺に関し興味を感じたことの議論を深め、会報、総会で意見交換を行う。
3. 川の文化の発展に貢献できることを発信する。

2 平成 20 年度事業計画

1) 総 会

会員が集合し、直接意見交換、討論する機会として、年に 1 回実施する。平成 20 年度は、今回の意見交換で出されたご意見を基に、会として青森の川の文化発展に寄与できるテーマを探り、会報、ホームページを通して会員に周知し、それに各人が、それぞれの活動により深められた論点を持って意見交換ができるような場を提供したいと考えている。

2) 活 動

川の文化の発展に貢献するため、一般の方々への当会の認知、PR を兼ねて活動を実施する。

・ サークル活動

- ・ 堤川を愛する会（青森市）
- ・ 親しめる川づくりサークル（土淵川せせらぎフェスタ）（弘前市）
- ・ ジョイリバーおいらせ（十和田市）
- ・ サークル「母なる川」（五所川原市）
- ・ サークル鳶川（八戸市）
- ・ 青森の川の文化発展に寄与できるテーマで河川文化講演会の開催を予定
- ・ 蟹田川源流に柱建立を予定しています
- ・ 奥入瀬溪流鳶川清掃活動
- ・ 自然産卵・自然繁殖の川づくり（河川整備基金助成金）

3) 会報の発行

年 1 回程度会員に情報を配信する。

4) 情報の発信

インターネットホームページの内容向上、E-Mail の交換により、会員同士の情報交換、一般の方々への情報発信を行い、川の文化の発展に寄与して行く。

ホームページの改訂を適宜行い、会員に最新の情報が伝達されるとともに、一般の方々気軽にアクセスできるようにしたい。会員のみなさんからの積極的なアクセス、投稿をお願いします。

平成 20 年 9 月 10 日

各 位へ

奥入瀬川漁業協同組合
代表理事組合長 野月 誠
あおもりの川を愛する会
会長 佐々木 幹夫

イワナの人工産卵床の造成について
(お知らせ)

貴職におかれましては、日頃から、奥入瀬川漁業協同組合やあおもりの川を愛する会の活動につきましてご理解を賜り、感謝申し上げます。

ご案内のとおり、私たちは、奥入瀬川支流の蔦川下流部を対象に、「イワナが安心して産卵できる川づくり活動」を行って参りました。

昨年度は、活動の一環として、10月18日に蔦川の小溪流に人工産卵床を1箇所造成し、その後3回にわたって調査しましたが、小溪流でのイワナのペアリングは視認できたものの、人工産卵床内での産卵は確認できませんでした。

さて、私たちは、この9月6日に実施した蔦川の清掃活動にあわせて産卵床づくりに必要な砂利等を既に採取、確保しましたので、下記のとおり、本年度におきましても、再度、人工産卵床づくりに挑戦する事と致しました。

どうか、現地での産卵床設置作業をご視察の上、作業方法や事業そのもののあり方等についてご意見を賜りたく、ご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 20 年 10 月 7 日(火) 午後 1 時～3 時 30 分(小雨決行)
(作業時間は若干変更されることもあります)
2. 集合場所 蔦川沿いの「奥入瀬溪流温泉ホテル」<休館中>前の広場
3. その他 かっぱ、作業服、長くつ、軍手などは各自準備

恐縮ですが、参加される方の氏名を 10 月 3 日(金)までにご連絡していただければ幸いです。

(連絡先 あおもりの川を愛する会事務局 今、西田 TEL017-729-0922
FAX017-739-3561)

イワナ産卵床づくり事業報告

開催日：平成 20 年 9 月 6 日

今年もイワナの産卵床づくり（鳶川の支川）の為の材料（砂利等）を鳶川の本流より少し採取致しました。産卵床づくりはイワナが産卵する時期（11 月上旬頃）前に産卵床を会員で作る予定です。

<産卵床砂利採取>

砂利ふるい分け作業



箏の演奏会事業報告

開催日：平成 20 年 9 月 6 日

同日午後より大木かつ恵様よる琴の演奏会を開催いたしました。演奏会の曲目は秋の蔦川にふさわしいテーマ「箏の音(ことのね)は川面を渡る秋風にのって」で演奏され参加者 120 名は熱心に聴いていました。

< 箏の演奏会 >

佐々木会長挨拶



総合司会者（黒石様）



演奏進行司会者（三村副会長）



演奏者（大木かつ恵様）



演奏 1



演奏 2



演奏 3



演奏会場



演奏 4



演奏 5



演奏 6



記念撮影



蔦川・箏の音吟行記

平成二十年九月六日

森を抜ける風、川面をかすめる風、すべてが新秋と呼ぶにふさわしい一日でした。この日、奏者大木かつ恵さんによる「箏の演奏会」が奥入瀬溪流ホテルで行われ、私たち六人は蔦川・箏の音吟行と称して参加させていただきました。主催者「あおもりの川を愛する会」(佐々木幹夫会長)では、青森の川の文化の発展に貢献するという目標の下、様々な活動をされていますが、今日の蔦川清掃活動と箏の演奏会は、奏者のプログラムのサブタイトルの「箏の音は川面を渡る秋風にのって」にすべて込められていると思えました。

奥入瀬溪流ホテルから蔦川出会い橋までの遊歩道、川音が近くなり遠くなる、空を目指しからみ合う木々、触れればほのかにぬくもりの伝わるドロノキの絮、渦の吸われる川の合流点、時がゆっくりと流れ、総身清められる心地でした。

蔦かづら大樹にからむ溪のみち

ツタ子

秋の川音やはらかに我を過ぐ

文子

草の実を割れば掌のなかうすみどり

洋子

栃の実のひかりつぎつぎ手を渡る

多希子

偶然見つけた煙茸、踏むたびに灰色の煙を吐く様が珍しく、ついつい沢山煙を吐かせてしまつてごめんなさい。また、自称ボランティアの方が案内して下さった秘密の溪流スポットは、とてもすばらしい川の流れでした。

煙茸踏む大足の大男

無行

秋の川急くもゆるくも清しけり

ひろこ

大木かつ恵さんの心に沁みる演奏は勿論のこと、時代背景を織り込みつつ曲を紹介された三村三千代さんの司会進行の間合は絶妙でした。奏者と進行・会場が一体となり、正に心身とも満ち足りたひと時だったと思います。末筆ながら箏の音の一句を添えてお礼とさせていただきます。

水澄める川の流れや箏の音

ひろこ

秋水を借景にして箏の会

ツタ子

水澄むや胸に波打つ箏の音

文子

さざ波のやうな箏の音水の秋

無行

新涼の身内流るる箏の音

洋子

箏の音のはずむ夕べや涼新た

多希子

あおもりの川を愛する会

箏の演奏会

～箏の音（ことのね）は川面を渡る秋風にのって～



平成20年9月6日（土）

開場13:00 開演13:30

入場無料

会場 奥入瀬溪流ホテル
（旧奥入瀬グランドホテル）
十和田市大字奥瀬字栃久保231
TEL 0176-74-1111

*来場希望の方は、事務局までご連絡下さい。
（TEL：017-729-0922 担当：今）

<奏者>

大木 かつ恵



<プロフィール>

東京大学文学部美術史学科卒業
東京芸術大学音楽部邦楽課卒業
NHK邦楽技能者育成会第27期修了
NHK邦楽オーディション合格
NHK FM「きょうの邦楽」に出演

アラバマ大学（米国）・
グレース王妃劇場（モナコ）・
参議院議長公邸・東京都庁・
客船飛鳥・客船ぱしふいっくびーなす・
愛知万博博覧会・
全国各地の小・中・高等学校で演奏



主催 あおもりの川を愛する会

事務局 〒030-0111 青森県青森市大字荒川字柴田102番地1

TEL: 017-729-0922 (担当:今)

9月6日 曲目

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 . みだれ | 八橋 検校 作曲 |
| 2 . 風鈴 | 宮城 道雄 作曲 |
| 3 . 線香花火 | 〃 |
| 4 . 虫の歌 | 〃 |
| 5 . 涙 (なだ) そうそう | BIGIN |
| 6 . 里の秋 | 海沼 実 |
| 7 . 悲しい酒 | 古賀 政男 |
| 8 . 岩木川 | 吉 幾三 |
| 9 . 水 | 沢井 忠夫 |
| 10 . 三つの断章 | 中能島 欣一 |

平成20年7月16日

会 員 各 位

あおもりの川を愛する会
会 長 佐々木 幹夫

箏の演奏会開催のお知らせ（河川文化講演会）

拝啓 盛夏の候、貴社いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、あおもりの川を愛する会では箏の演奏会を下記のとおり開催いたしましたので、ご多忙中とは存じますが、多数ご参加くださるようお願いいたします。

記

日 時：平成20年9月6日（土）13：00～14：30
場 所：奥入瀬溪流ホテル【旧：奥入瀬溪流グランドホテル】
（十和田市大字奥瀬字栃久保231）
開 場：13：00～
開 演：13：30～

入場無料

<演奏者： 大木 かつ恵

テーマ： 箏の音色で川の流れをみる（仮題） >

（演奏者は一昨年あおもりの川を愛する会、総会時に演奏して頂いている方です）

参加人数を取りまとめの上へ 8月25日までにご連絡下さい。

<連絡先 事務局 今・西田 FAX017-739-3561・TEL017-729-0922 >

演奏者プロフィール

大木 かつ恵 プロフィール

- * 東京大学文学部美術史学科卒業
- * 東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業
- * NHK邦楽技能者育成会第27期修了
- * NHK邦楽オーディション合格
- * NHK FM「きょうの邦楽」に出演
- * アラバマ大学（米国）・グレース王妃劇場（モナコ）
参議院議長公邸・東京都庁・客船飛鳥・客船ぱしふいっくびーなす
愛知万国博覧会・全国各地の小、中、高等学校等で演奏

箏の演奏会申込書

・箏の演奏会 _____人

所 属 _____

氏 名 _____

連絡先 _____

平成 20 年 7 月 16 日

会 員 各 位

主 催 青森市大字荒川字柴田 1 0 2 - 1
あおもりの川を愛する会
会 長 佐々木 幹夫
協 賛 青い森緑化保全連合会
(社)日本造園建設業協会
(社)日本造園組合連合会
青森県砂防ボランティア協会

蔦川清掃活動のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当会につきましてご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第 6 回蔦川清掃活動を下記のとおり実施いたします。お忙しい事とは存じますが、ご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

1) 清掃活動

目 的：蔦川の美しい環境を維持する

日 時：平成 20 年 9 月 6 日(土)午前 10 時～12 時

集合場所：奥入瀬渓流温泉ホテル<休館中>

(昨年と同じ場所に 10 時集合)

活動内容：蔦川上流 2 km に渡りごみ拾い作業

(ゴミ袋・軍手・ハサミは当会で準備します)

参 加 料：無 料(保険各自加入)

同時にイワナ産卵床づくりの砂利採取も行います

参加人数を取りまとめの上へ 8 月 25 日までにご連絡下さい。

<連絡先 事務局 今・西田 FAX017-739-3561・TEL017-729-0922 >

・清掃活動参加人数 _____人

所 属 _____

氏 名 _____

連絡先 _____

鳶川清掃・イワナ産卵床づくり・箏の演奏会報告

開催日：平成 20 年 9 月 6 日

第 6 回目となります鳶川(旧十和田湖町)の清掃活動が平成 20 年 9 月 6 日に行いました。作業前に分別袋を渡し燃えるごみ・燃えないごみと分けて、会員ほか約 95 名参加されごみ拾いを行いました。

上流から流れてきたと見られる針金・薄い鉄板などあり、川岸には相変わらずジュースの空き缶・タバコの吸殻・ビニール袋等が落ちていました。それでも毎年行っている継続の成果ゴミは年々少なくなってきました。

今後も当会としまして年 1 回の清掃活動ですが、ご協力頂いた皆さんと清掃活動を行っていき、青森県に来て頂いた観光客に綺麗な鳶川を見て頂きたいと考えております。

また、今年もイワナの産卵床づくり(鳶川の支川)の為の材料(砂利等)を鳶川の本流より少し採取致しました。産卵床づくりはイワナが産卵する時期(11 月上旬頃)前に産卵床を会員で作る予定です。

同日午後より大木かつ恵様よる琴の演奏会を開催いたしました。演奏会の曲目は秋の鳶川にふさわしいテーマ「箏の音(ことのね)は川面を渡る秋風にのって」で演奏され参加者 120 名は熱心に聴いていました。

<ごみ清掃作業>

開会式



佐々木会長挨拶



三村副会長挨拶



記念撮影



ごみ拾い作業



拾ったごみ



拾ったごみ



佐々木上北地域県民局地域整備部長終了挨拶

【蟹田川源流の地標柱建立事業 源流の地探索報告書】

平成 20 年 7 月 30 日に事業計画のひとつとして、今年度は「蟹田川源流の地」探訪会を開催いたしました。

青森森林管理署のご理解を得て蟹田川上流域に川を訪れた地域の方々に、「川の源流」であることの認識して頂けるよう本川上流の水源かん養保安林に標柱を建立致しました。今回は上流域が二股になっており位置づけが難しいため二箇所にて標柱を建立することにしました。

当日は上流域という事もあり道路は悪路のため、比較的車高の高い車輛 5 台に便乗(20 人)し、集合場所の外ヶ浜町役場から厳しい林道を 50 分位かけて走行しました。途中数箇所ですが、道幅が狭く路肩から直ぐ深い沢になっていて、非常に危険な場所もありましたが、無事に辿り着き一本目を建立しました。その後、昼食の為、一端下山し午後から二箇所目の左支川高石股沢上流に徒歩で向かいました。このあたりも自然環境がすばらしく、山菜のみずが一面に生えていたり、狸らしい動物に遭遇したり豊かな自然を感じながら約 20 分で辿り着き 2 本目の標柱を建立しました。

皆さんのお蔭で事業が無事終了する事ができました。参加された方々お疲れ様でした。

【佐々木会長挨拶】



【出発前の記念撮影】



【蟹田川掘削】



【標柱建立】



【記念撮影】一箇所目



【周辺のごみ】



【ごみ収集】



【昼食】



【高石股沢掘削】

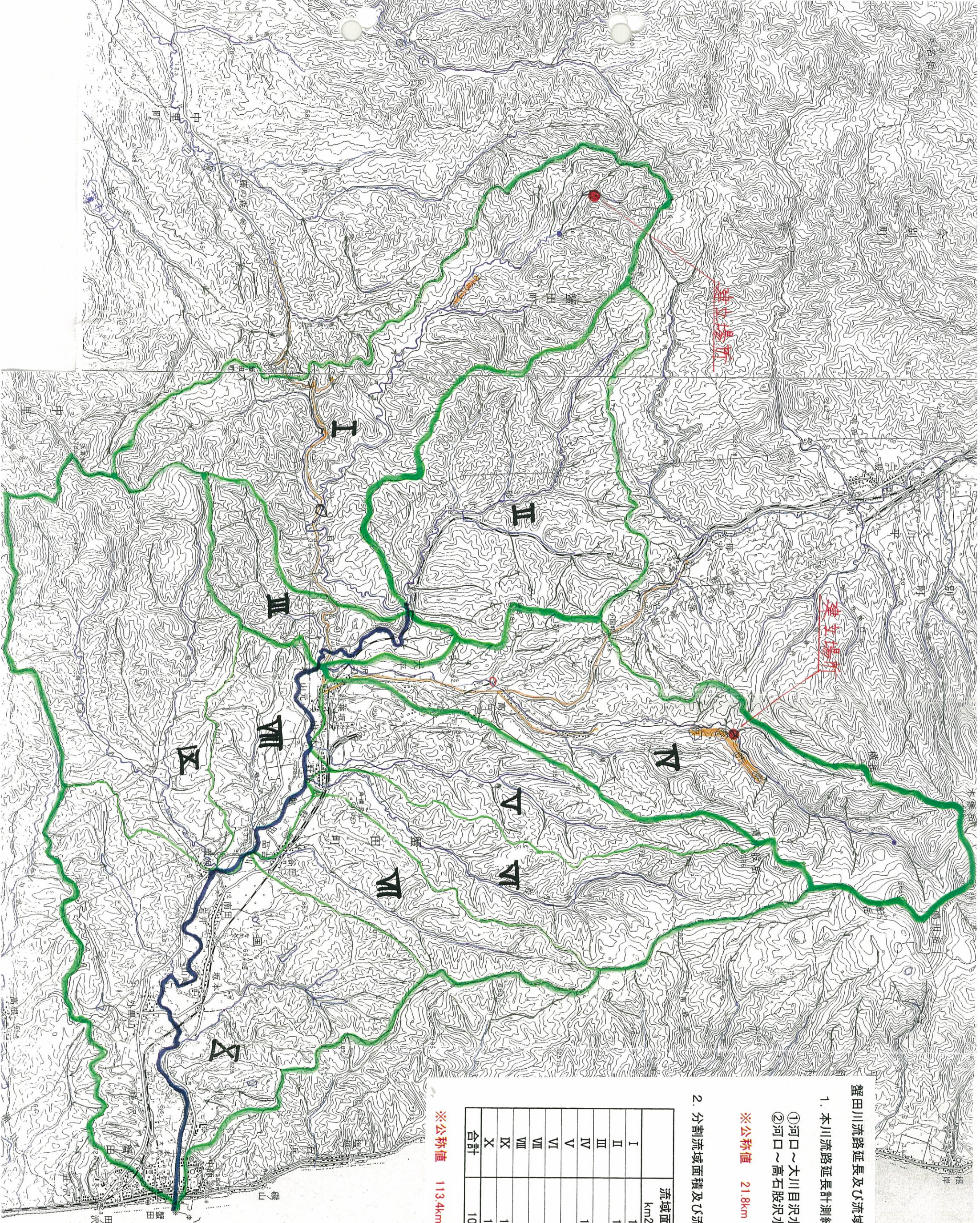


【記念撮影】二箇所目



【青森県河川砂防課長工藤金一氏挨拶】





蟹田川流路延長及び流域面積

1. 本川流路延長計測結果

- ①河口～大川目沢水源 23.9km
- ②河口～高石股沢水源 20.9km

※公称値 21.8km

2. 分割流域面積及び流路延長計測結果

	流域面積 km ²	流路延長 km
I	18.3	10.3
II	13.5	6.5
III	4.1	2.4
IV	15.1	9.9
V	6.8	5.0
VI	6.8	6.9
VII	5.3	4.3
VIII	4.5	2.0
IX	14.5	6.8
X	18.2	6.4
合計	107.1	

※公称値 113.4km²